

平成16年5月7日

各 位

三井トラスト・ホールディングス株式会社
中央三井信託銀行株式会社

複数の携帯電話等通信会社(マルチキャリア)の各インターネット接続サービスによる 議決権行使システムの開発について

中央三井信託銀行は、複数の携帯電話等通信会社(マルチキャリア)の各インターネット接続サービスによる株式の議決権行使を可能とするシステムを開発し、サービス提供を開始します。マルチキャリアの各インターネット接続サービスによる議決権行使が可能なシステムは、わが国初となります。

平成14年4月の商法改正によって、企業は、インターネットを利用して株主総会における議決権の事前行使を受付けることが可能となりました。中央三井信託銀行は、インターネットを利用した株主総会のIT化(電子化)に対応した「株主総会電子化システム」を開発し、これまでパソコンによる議決権行使の事前受付に対応してきましたが、今般、株主の皆様の利便性を更に高める観点から、マルチキャリアの各インターネット接続サービスによる議決権行使システムを開発したものです。

中央三井信託銀行の受託会社のうち、株式会社松坂屋が5月開催予定の株主総会において本システムの採用を決定しているほか、川崎重工業株式会社、株式会社日興コーディアルグループ、エス・イー・エス株式会社も6月開催予定の株主総会において採用を決定しております。今後、他の受託会社においても、多数の採用が見込まれています。

【サービス概要】

各キャリアの以下のインターネット接続サービスが利用可能であるとともに、暗号化通信が可能なSSL通信機能を搭載した機種により、本システムが利用できます。SSL通信機能の利用により、議決権行使に関する情報保護に万全の措置を講じております。

株主の皆様へ送付される「株主総会招集ご通知」に記載のURLを直接入力してアクセスしていただき、議決権行使コード及びパスワードを入力することにより、議案の賛否を投票することが出来ます。

- ・iモード(株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ)
- ・EZweb(KDDI株式会社(au)のみ)
- ・Vodafone Live!(ボーダフォン株式会社)
- ・Lモード(東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社)

(注)

- ・SSL:Secure Socket Layer。インターネット上で情報を暗号化して送受信する仕組み。
- ・iモードは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、EZwebはKDDI株式会社、Vodafone Live!はVodafone Group Plc、Lモードは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標または商標です。

以 上